

科名 呼吸器内科

対象疾患名 非小細胞がん(非扁平上皮がん)

プロトコール名 キイトルーダ+PEM+CBDCA

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1 ... 21
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ	↓
2	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ デキサート	0.75mg 9.9mg	30分かけて	↓
3	点滴注	側管	キイトルーダ 生食	200mg/body 100mL	30分かけて 専用ルートJY-PF340P52使用 投与前後生食フラッシュ	↓
4	点滴注	側管	ペメトレキセド 生食	500mg/m ² 100mL	10分かけて	↓
5	点滴注	側管	カルボプラチン 生食	AUC5 250mL	1時間かけて	↓

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

プラチナ併用の4コースを含め35コースまで

<キイトルーダ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

<ペメトレキセド>

NSAIDsと併用注意

副作用予防のため必ず葉酸とビタミンB12を組み合わせる。

葉酸:フォリアミン0.5mg/dayはペメトレキセド投与7日前～最終投与後22日目まで毎日投与。

ビタミンB12:メチコバルール注500μgを2Aペメトレキセド投与7日前～最終投与後22日目まで9週毎(3コースごと)

<カルボプラチン>

投与量計算:AUC5=5x(Ccr+25)

アレルギー好発時期:8回目以降